

平塚市食育推進計画

いま、なぜ食育なのか？

～平成22年度から平成26年度まで～

概要版

1 計画策定の趣旨

近年、核家族化など社会情勢による食の問題、ライフスタイルの変化による朝食の欠食や過食の問題、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の増加、あるいは食品表示の偽装による安全の確保など多方面にわたる食の問題が深刻となっています。

こうした中、国民が生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育むことができるよう、食育を総合的、計画的に推進するための法律「食育基本法」が平成17年6月に制定されました。平成18年3月には基本方針を定めた「食育推進基本計画」が策定されています。

食育基本法第18条では各地方公共団体には、その特性をいかした自主的な施策の策定に努めることとされています。それを受け、本市でも市民一人ひとりが実践できる食育のまちづくりを目標とした「平塚市食育推進計画」を平成22年3月に策定しました。

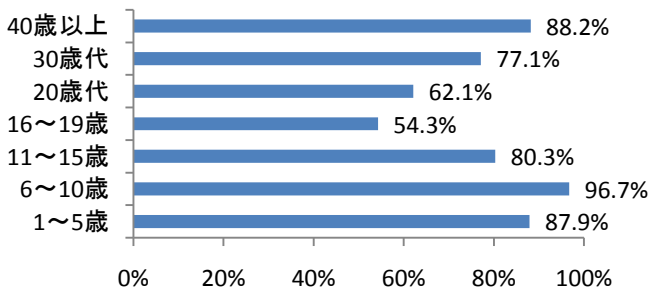
2 一人ひとりに大切な食育

- 食育とは、生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきもの
- 様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること
- 平塚にゆかりのある明治時代の小説家・村井弦斎は、小説「食道楽」の中で「小児には、徳育よりも、知育よりも、食育が先。体育、徳育の根源も食育にある。」と記しています。

3 平塚市の食をめぐる現状と課題

平成19年度食育推進のための実態調査から

朝食を毎日食べる人の割合(平塚市)

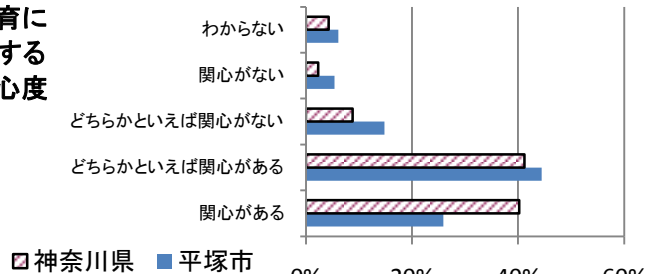


16～19歳、20歳代で朝食を食べる人の割合は50～60%と低くなっています。

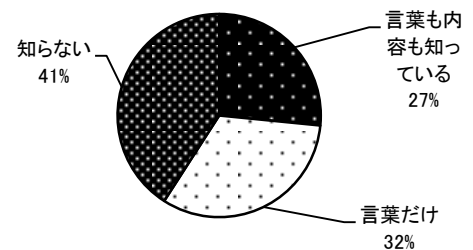
朝食は一日の活動のエネルギー源として大切です。

朝食の必要性について情報提供することや簡単に準備できる朝食メニューの提案など市民の朝食摂取を多方面から支援する必要があります。

食育に対する関心度



食事バランスガイドの認知度(平塚市)



食事バランスガイドについて、言葉も内容も知っている人は25%とまだ一般に普及していない状況です。

健康的な食生活実践のために「何を」「どれくらい」食べたらよいかの目安となる食事バランスガイドについて、普及活動が必要です。

神奈川県に比べ、食育に対する関心度は低い傾向がみられます。食育実践のためにまず、関心を持つことが大切です。市民にわかりやすく、また取組みやすい食育を推進していきます。

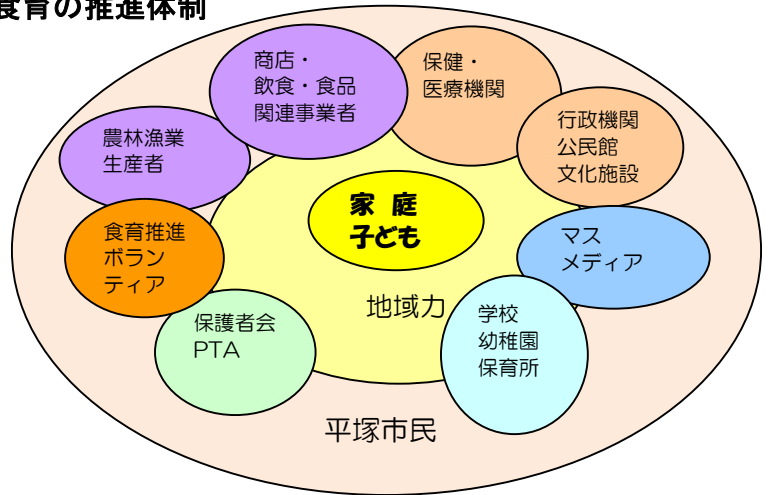
基本理念

みんなではぐくもう！ 食育のまち ひらつかの未来

本市は神奈川県のおぼ中央、相模平野の南部に位置し、南は相模湾に面しています。気候が温暖で里山や田園、海、川の豊かな自然にめぐまれた本市には豊かな食の基盤があります。食環境に恵まれた本市では、「みんなではぐくもう！食育のまち ひらつかの未来」を基本理念に、食育の普及を目指します。

次世代を担う子どもたちが、食について楽しみ、感謝し、考える力を養うために、望ましい食への考え方や食の文化等を大人たちが伝えていく環境づくりを重点課題としています。

食育の推進体制



基本方針

次世代を担う子どもの健やかな成長や、よりよい食生活環境を継承することを目標に、行政機関や関連団体が連携・協力し、市民自らが食育を実践していくことを推進します。

●家庭ではじめる食育

「早寝早起き朝ごはん」を基本とした乳幼児期からの規則正しい食生活習慣の形成や食を楽しむ、食べることを大切にする気持ちを育むための取組みを促進し、次世代に受け継がれる食育の推進に努めていきます。

●体験を通じた食育

農業体験や料理体験を通じて、食べ物の生産現場を見て、料理をすることの楽しさや食事の大切さを学ぶとともに、食べ物に対する感謝の気持ちを体験し育てます。また、村井弦斎の唱えた食育の考えを継承し、食育関連行事への参加を促進します。

●健康づくりのための食育

食事を実践するための食事バランスガイドの活用方法を、各種教室・講座等にて情報提供していきます。

●人とのふれあいを通じた食育

行政間や団体間の連携を図り、互いの活動に積極的に参加・協力することにより、市民一人ひとりが主体となって食育の活動を推進していきます。

食育推進の指標		現状値	目標値
1	早寝早起き朝ごはんを実践する家庭の割合 *1	3歳 34.4%	50%
2	バランスのとれた朝食を食べる子どもと大人の割合	0～5歳 44.8%	60%
		20歳代 40%	55%
		30歳代 35%	50%
		40歳代 45%	60%
1	食に関する体験活動・情報提供の場の充実	小中学校 *2 29校 高校 *3 2回 公民館 *3 18公民館 漁業・加工見学 *3 1回 パンフレット作成 未実施	全43校 6回 全26公民館 2回以上 作成・普及
2	食に関する事業を知っている件数(一人あたり)	2.3件	3件
3	食育を唱えた村井弦斎の認知率	29%	40%
1	平塚産食材を使った食事バランスガイドの普及	未実施	作成・普及
2	野菜を1日350g食べている人の割合 *4	45%	60%以上
1	食育ボランティアの人数の増加 *5	289人	320人以上
2	食育に関心をもっている人の割合	70.3%	90%以上

食育推進の指標の現状値は主に「平成19年度食育推進のための実態調査」の結果を用い、それ以外の調査結果等を用いるものは、指標解説中に*を表示します。

*1-平成17年度乳幼児栄養調査、*2-平成21年3月実施の市内小中学校を対象に行った実態調査、*3-平成20年度事業実績、*4-平成20年度健康増進計画実態調査、*5-平成21年度会員数

基本的施策と施策の展開

- 1 家庭における食育の推進
- 2 学校・保育所等における食育の推進
- 3 地域における食生活改善のための取組みの推進
- 4 食育推進運動の展開
- 5 生産者と消費者の交流の促進及び環境と調和のとれた農水産業の活性化
- 6 食文化の継承、展開のための活動の支援
- 7 食品の安全性、栄養、その他食に関する調査、情報提供

【編集・発行】

平塚市健康課(保健センター)

〒254-0082

平塚市東豊田4 4 8 - 3

TEL0463-55-2111

FAX0463-55-2139